

2021年4月8日(新規)

井口桂一先生* (作新学院大学・宇都宮大学非常勤講師)からのメッセージ

小学校4年生 理科を学ぶ皆さんへ 「学び方ガイド(2021)」

理科は、自然について観察や実験を行いながら、科学的に問題を解決していきます。自分のまわりの自然を調べ、ワクワク・ドキドキ・ナツクしながら理科のおもしろさを感じてほしいです。また、理科では「自然を見る目・見方」や「科学的に考える力・考え方」をはたらかせながら学ぶことが大切です。

この「学び方ガイド(2021)」では、それぞれの単元で使ってほしい「理科の見方や考え方」について示していきます。授業の中でこれらを使うことで、みなさんの理科の学びがより楽しいものになればうれしいです。

それでは、4年生理科の学習をはじめましょう。

※ 教科書により学習する単元の順序がちがう場合があります。その時は、「学び方ガイド2020」に1年間の学習がしめしてありますので、そちらも読んでみてください。

● 4月「春の生き物」

4年生では、1年間にわたって植物や動物の観察をしながら学習を進めていきます。この単元は、その第1回目で「春の生き物」がテーマです。学校や家のまわりの木や草の中から、これから1年間観察をつづけるものを決めて、その植物に集まってくる鳥・虫などもじっくりと観察していくことがおすすめです。それらを観察する時は、次のような見方(これから「**理科のメガネ**」とよびます)をすると生き物のことがよく分かります。

- **色や形を見るメガネ**・・・色や形・模様を見ると生き物の持ちようが分かります
- **道具を使って見るメガネ**・・・虫メガネを正しく使うとくわしくかんさつできます
ものさしを使うと「くき」の伸びが数字で分かります
温度計を使うと、気温を数字で表せます
- **上下左右から見るメガネ**・・・いろいろな方向から見ると新しい発見があります
葉の表と裏を比べて見るのも面白いです
- **くらべながら見るメガネ**・・・2つ生き物をくらべながら見ると
似ているところやちがっているところが発見できます
- **数を数えながら見るメガネ**・・・植物が成長すると、葉の数が変わります
- **時間をかけて見るメガネ**・・・今日観察したら明日もう一度観察してみてください
1か月後、1年後・・・時間をかけて見ると面白いです

「理科のメガネ」を使って生き物をくわしく観察したら、教科書に観察記録の方法がのっていますので、それをお手本にして、自分だけの「生き物ずかん」が作れるといいですね。ずかんができたなら、自分のものを見直したり友達とずかんを見合ったりして、「**それぞれの生き物の様子と自分の生活とを関係づけて感想をまとめる**」ことが理科の考え方の**ポイント**です。みんなの「生き物ずかん」を見合いながら、生き物についての感想を友達とつたえ合えるといいですね。

*井口桂一先生の紹介

宇都宮市内公立小学校教諭、宇都宮大学教育学部附属小学校副校長、栃木市立家中小学校長、宇都宮市立城東小学校長を歴任。栃木県小学校教育研究会理科部会長として、理科指導法の研究に携わってきた。現在、作新学院大学勤務、宇都宮大学非常勤講師。